

日本ダンス界の今後の方向を決める会議

日時：2015年10月19日 12:00から13:40

出席者：中川勲、鳥居弘忠、鳥居瑤子、毛塚鉄雄、山本智恵子、天野博文、桜本和夫、田中英和

欠席者：石原久嗣

会場：オフィス東京



【会議内容】

9月14日（月）に開催された「日本ダンス界の今後の方向を決める会議」に引き続き、今回で2回目の開催となる本会議では、「プロの一本化」の具体的内容が決められた。

具体的な行程表として、2016年度は、従来NDCJにて開催されていた、「統一全日本」「統一10ダンス」「統一ショーダンス」「統一ライジング、および統一アマチュア」に加えて、JDCにて開催されていた「アジアオープン」、JCFにて開催されていた「ギャラクシー」、それにJBDCよりメイン競技会を一つ、合計7大会をNDCJ主催にて開催することに合意した。

2017年度は各団体にて主催されている全てのオープン戦をNDCJ主催にしていく事が承認されました。

【発言内容】

1. (中川勲) 本日の会議は、NDCJ 特別委員会として開催します。前回の議事録に対して石原久嗣氏からクレームが来ました。彼の立場を尊重して、前回は議事録公開はしなかったが、今後は発表していきます。
2. (中川勲) 前回、プロの一本化について話をしました。今回はどこまで歩み寄るかを決めたい。
3. (中川勲) 田中英和氏は前回会議を欠席しましたが、内容は確認してもらえましたか。
4. (田中英和) はい。確認しました。
5. (山本千恵子) そろそろ、世界選手権を日本で開催したい。
6. (中川勲) 今朝、2018年の世界選手権をアメリカがすでに申請してますが、日本もこれから申請する事が出来ます。
7. (中川勲) 「一本化をどこまで行うか」の件につき一本化することだけが目的なのか？または賞金王に向かいダンス界を大きく発展させることを我々は選択すべきなのか？現在、ダンス教

室を訪れる人の数は激減している。教多くの教室が潰れていっているのが現状である。私達は業界全体を大きく発展させることを選択しなければならない。プロは競技ダンスの賞金王に向かいメディアを取り込みダンス界を大きく発展させ、すべてのダンス教室が多くのダンスを習いたい子供達で一杯になることを望んでいる。

8. (毛塚鉄雄) JDC は公益社団、JCF は NPO 法人であり、それを返上するのではなく、それぞれの法人を尊重して考えていきたい。スターなき業界は滅びる。荒川静香というスターのおかげで、アイススケートは普及した。3 団体がスターを作ることが先決。スターがいなければ、スポンサーもつかない。我々の存在感、社会的地位、認知度を上げるために、スターを育てる事が先決と思う。
9. (鳥居遥子) スターとは世界のどのぐらいのレベルですか。
10. (毛塚鉄雄) 存在感を示さなければならない。待っているだけではなく、我々も何かやらなければならない。今までは、会議だけやっているだけで何も決まらない。以前の JNCPD では会議を 111 回開催したが、何も決まらないうちにメンバーボディを WDC によって解散された経緯がある。
11. (鳥居弘忠) 統一全日本選手権は 3 団体が分裂してできた。日本人選手の成績は年々成績が落ちている。ここで、関西弁で言うと「一発かましたい」。現在はどっちつかずの状態。昨年度、統一全日本に参加して、嬉しかった。チケットはすぐ完売になっていた。知名度、値うち、価値観が年々上がっている。今後は統一全日本のような競技会を増やして、一本化に向かうのが自然だと思う。
12. (山本千恵子) 今までは財団では選手を拘束している。
13. (中川勲) 選手を拘束するべきではない、これは WDC のポリシーである。JBDF の中では、あのような問題（インターナショナル選手権大会）が起きたが、今後も選手からもっと積極的に提案そして主張してもらいたい。
14. (毛塚鉄雄) 選手が一致団結してフロアに立たなければ競技会はおろか組織も成り立たない。
15. (中川勲) 選手に近い、天野先生、田中先生から選手に、選手が意見を上げてくるように働きかけて欲しい。
16. (中川勲) 我々は選手が望まないことは出来ない。
17. (山本千恵子) どっちつかずの人は早くはっきりして欲しい。何時までもグズグズしてはいけないし、財団が合流する事を今まで待っていたが今後もどんどん行動をすすめたい。
18. (鳥居遥子) 中心は東京なので、東部総局から動いて欲しい。11 月 19 日が東部総局の沿総会の予定。
19. (山本千恵子) 公益法人はダンス界の人間だけではできないのか？
20. (中川勲) 外部理事が 3 分の一入れればよい。
21. (天野博文) 各団体の 3 つの主要競技会は、NDCJ で行っていきたい。審査員も 3 団体から均一に選出。チケットの販売も協力し合う。出来るところから、直ぐにでも始めて行きたい。世界選手権レベルの競技会の開催もおもしろいと思う。10 ダンス、ショーダンス等も一緒に行く。参加したくない人は仕方がない。実績を作らないとスポンサーのバルカーさんも降りてしまうと思う。ダンス界に 1000 万円のお金を出して貰ったからには、それに答える義務があると思う。ベスト 6、もしくはベスト 12 を NDCJ から「日本の顔」として売り出したい。海外審査員からも、それぞれの団体の色で選手を見てしまっていると思う。それぞれの選手をレベルによってリーグにしていくのも面白い。早く具体的なことを決めないと今年も直ぐ終わってしまう。
22. (毛塚鉄雄) 財団も加わって、早く行わないといけない。

23. (田中英和) 方向性は同じだと思う。スター選手を作るのも、ランキングを取り入れるのも大賛成です。ただ、選手からは日本のダンス界をどこに向かわせようとしているのか見えない状況である。現在、ダンスウィズミーのチケット売上も好調である。選手の方が頑張っている。選手は、ダンスの競技会によっては自分たちの将来が見えてこない。プロモーションも行っていく。アメリカの USBC の大会も参加していたが、20年前は、地元アメリカの選手は決勝に1組しか入らなかったが、その大会によって現在はアメリカは世界一となった。
24. (中川勲) インターナショナルな競技会は NDCJ で行っていくことは、皆さん賛成だと思う。いつから始めるのかを決めたい。今決めないと今年も終わってしまう。そして各団体が、それに従うかが問題である。
25. (山本千恵子) 1 団体だけが問題。
26. (鳥居遥子) 実際にチケット販売するのは東部総局になる。大阪からでは東京のチケットを販売できない。
27. (中川勲) (遅れて参加した桜本氏に対して説明した。)「インターナショナルな競技会是一緒に行い、収支は別に考える。」ことを説明した。
28. (中川勲) NDCJ の資金源である統一全日本、統一 10 ダンス、統一ショーダンス、統一ライジングを黒字にしていけば良い。
29. (桜本和夫) まず財団の組織が落ち着いてから行いたい。NDCJ も何か行っていかなければならない。漠然と在る NDCJ では意味がない。
30. (天野博文) 「武道館」は改装で、来年は使えるが再来年はわからない。オリンピックがらみのことです。
31. (天野博文) 外に対するアピールを打ち出していききたい。年間 7 つの競技会を打ち出せば、素晴らしいと思う。
32. (中川勲) どこまで一本化するのかが重要。すべてのオープン戦開催を NDCJ、クラス戦開催は各団体となれば、かなりの一本化になることと思う。一部の競技会だけでは、世間は一本化と見てくれない。
33. (天野博文) 理想としては、冠料として1 競技会あたり例えば 100 万円とすると、既に 300 万円が NDCJ に入る。お金が欲しいわけではなく、海外遠征費用のような形で選手に還元したい。
34. (中川勲) 「一本化したことを伝える」大きなアドバルーンを上げたい。宣伝することが大切。それによって、選手、審査員もその流れに乗れると思う。
35. (桜本和夫) 来月の総会で東部総局は方向性が決まる。競技会が開催できるかの問題は別としても JBDF は無くならない。
36. (桜本和夫) 東部総局の総会は 11 月 20 日か 21 日に行う。
37. (中川勲) 仮に、もしうまくいかなかった場合には、桜本、鳥居、田中で関西からスタート出来ますか。
38. (鳥居遥子) 大阪インターのようにやればできる。
39. (天野博文) もう来年の年間計画を提出しなければ間に合わない。スポンサーにも年間スケジュールを提出できない。西部総局にて財団のインターにかわるものを開催してほしい。会場は武道館ではなくてもいいと思う。広島でも良いと思う。
40. (中川勲) メイン競技会を NDCJ で行うことに同意しますか。
41. (毛塚) 賛成です。何かしないと、ダンス界は止まってしまっている。
42. (中川勲) せっかくここまで皆さんの意見が良い方向にまとまってきたので、皆さんの合意をとりたい。

43. (中川勲) それぞれの団体からメイン競技会を1つ、それに統一を加えた、合計7大会をNDCJにて開催することの承認を取りたい。
44. (中川勲) 満場一致にて承認されました。書面に署名をお願いします。
45. (桜本和夫) 今日のこの会はどのような会ですか。
46. (中川勲) NDCJが公式に公認した「NDCJ特別委員会」です。
47. (中川勲) 今回で2回目の会議です。次回はもっと多くのチャンピオンに参加してもらいたい。更には、全てのファイナリストに参加して貰いたい。
48. (中川勲) 次回会議に参加するチャンピオンをそれぞれの団体より選出して下さい。また、その次の会議では選手も入って貰いたい。
49. (中川勲) 次回の会議は11月4日とします。